

## <第5議案>

### 役員の改選について（案）

現役員全員が2024年2月25日をもって任期満了となることに伴い、以下の通り9人の理事候補と2人の監事候補を提案する。定款第10条1項に定められた役員の数、理事7名以上12名以内、監事2名である。9人の理事候補のうち1人は新任である。

#### ■理事候補（50音順）

足立修一、木元茂夫、佐藤治、高木規行、高原孝生、牧嶋とよ子、山口大輔（新任）、山中悦子、湯浅一郎（以上9名）

#### ■監事候補（50音順）

呉東正彦、茂垣達也、（以上2名）

#### ■役員候補の紹介（50音順）

足立修一（あだち しゅういち）

弁護士、核兵器廃絶を目指すヒロシマの会（HANWA）代表。日本反核法律家協会理事。1994年以降、被爆者の代理人として、在韓被爆者訴訟、在ブラジル・在アメリカ被爆者訴訟、原爆症認定訴訟、黒い雨被爆者訴訟、被爆体験者訴訟、被爆二世訴訟などに関わる。2020年度広島弁護士会会長。広島市在住。

木元茂夫（きもと しげお）

すべての基地にNO!をファイト神奈川（1996年結成）。地元神奈川を中心とした活動に関わり「ヨコスカ平和船団」に加わる。1998年の「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の結成に参加。著書に『アジア侵略の百年』、DVD作品に『原子力空母の危険性—変貌する横須賀軍港』、『たちかぜ裁判の歩み』、『安保法制と自衛隊』。横浜市在住。

呉東正彦（ごとう まさひこ）

弁護士。「原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会」の共同代表。横浜弁護士会人権擁護委員会基地憲法部会委員。1989年、「ネパの会」会員として米国家環境政策法（NEPA）違反を理由に在日米軍基地をはじめ米法廷に訴える訴訟に参加。1994年、横須賀で呉東法律事務所（現・横須賀市民法律事務所）を開設。横須賀市在住。

佐藤 治（さとう おさむ）

神奈川県高等学校教職員組合委員長。誕生より約40年横須賀ですごす。1994年より同組合役員として平和運動を担当。神奈川平和運動センター幹事、「いのくら」基地部会幹事、高校生平和大使神奈川実行委員会事務局などを歴任。現在、三浦半島地区労センター議長。

茂垣達也（しげがき たつや）

生協職員。1970年代終盤の学生時代に平和活動に関わる。生協の平和活動担当を通して、核問題・被爆者問題・基地問題・平和学習などに取り組む。元生協労連中央委員、単組副委員長を経験。現在はCOOP商品開発に従事。東京都中野区在住。

高木規行（たかぎ のりゆき）

製造系民間企業勤務。1992年より2007年までニフティ社フォーラム事業にて軍事情報フォーラム運営契約を締結し、様々な軍事研究者の集合体を運営。近年米国で多数の公文書公開が進んだことか

ら、戦後米国の占領期から冷戦期の政策についての研究に重きをおいている。

#### 高原孝生 (たかはら たかお)

明治学院大学名誉教授、明治学院大学国際平和研究所客員所員。日本平和学会理事、日本パグウォッシュ会議副代表、第5福竜丸平和協会理事。横浜市在住。

#### 牧嶋とよ子 (まきしま とよこ)

2001年、市民事業のNPO立ち上げに参加。2004年～2012年、座間市議会議員。米軍再編による基地機能強化反対運動に関わる。2008年～2012年、「米陸軍第1軍団のキャンプ座間への移駐を歓迎しない会」共同代表。神奈川ネットワーク運動・座間市民ネット代表。神奈川ネットワーク運動政策部長歴任。

#### 山口大輔 (やまぐち だいすけ)

法学部卒。外資系飲料プラント業(主に牛乳)会社員(調達系)。元職(鉄道車両製造業)で2001～2015年に在米を経験。2015年、安全保障関連法案の成立過程に強い危機感を持つ。同年、名古屋NGOセンターの講座に参加しNPO活動に関心を強める。2016～2018年ピースデポ研究員。転職後もボランティアとしてピースデポの活動に参加。愛知県名古屋市出身、東京都渋谷区在住。

#### 山中悦子 (やまなか えつこ)

元かながわ国際政策推進懇話会副会長、元開発協力NGO(特活)草の根援助運動代表。「すべての基地にNo!をファイト神奈川」、「WE21 ジャパン・平和政策チーム」などに参加し、地域をベースに反核・平和運動に取り組む。横浜市在住。

#### 湯浅一郎 (ゆあさ いちろう)

辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会顧問、オスプレイと飛行訓練に反対する東日本連絡会代表世話人、環瀬戸内海会議共同代表。専門は海洋物理学、沿岸海洋環境学。著書に『海の放射能汚染』、『原発再稼働と海』、『平和都市ヒロシマを問う』、『科学の進歩とは何か』など。東京都小金井市在住。

#### <補足説明>

■代表代行は、本日選出される理事の互選により選任する。

■話し合われている運営体制

代表代行： 高木規行

副代表：

■特別顧問

2008年、特別顧問に就任した梅林宏道は、同顧問を継続する。「ピース・アルマナック」の監修者・共同刊行委員長、次世代基金委員会、非核化合意履行・監視プロジェクトの仕事を行うとともに、事業全般の進行、スタッフ教育(実務、調査研究)への助言など「組織強化イニシャチブ」への委任を継続する。求められたときに可能な協力を行う。

一以上